

- 問1 16世紀半ば、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが日本を訪れ、キリスト教を伝えた当時の世界情勢に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. ヨーロッパで宗教改革が起こり、勢力を立て直そうとするカトリック教会が海外への布教を積極的に進めていた。 | 2. ルネサンスによる科学の発達により、日本の戦国大名から西洋の進んだ宗教や文化を導入したいという正式な要請があった。 | 3. 宗教改革によって誕生したプロテスタントの諸国が、アジアにおける植民地支配を広めるために宣教師を派遣していた。 | 4. 十字軍の遠征が成功したことで、キリスト教勢力がイスラム教勢力を圧倒し、アジア全域での布教が容易になっていた。 |
|--|---|---|---|
- 問2 16世紀半ば、種子島にポルトガル人を乗せた船が漂着し、日本に新しい兵器が伝えられた出来事について、その後の歴史に与えた影響として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. この兵器は朱印船貿易が最も盛んだった江戸時代初期に初めて日本にもたらされ、幕府の軍勢力を支えた。 | 2. この兵器は元軍が日本に襲来した際に初めて伝えられたもので、鎌倉幕府が滅亡する直接の原因となった。 | 3. 1543年に伝えられたこの兵器は、集団戦法への転換を促し、防御力の高い城郭の構造などにも大きな影響を与えた。 | 4. この兵器の伝来により、騎馬武者が名乗りを上げて一対一で戦う伝統的な戦術がより一層重視されるようになった。 |
|---|---|---|---|
- 問3 1543年、九州の南方に位置する種子島に漂着した中国船に乗っていた人々によって、日本に初めて鉄砲が伝えられました。このとき、日本に鉄砲を伝えたのはどこの国の人々ですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|
| 1. オランダ人 | 2. イギリス人 | 3. ポルトガル人 | 4. スペイン人 |
|----------|----------|-----------|----------|
- 問4 16世紀半ば、フランシスコ・ザビエルがイエズス会の宣教師が日本を含むアジアなど世界各地へ布教に赴いた歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|--|-------------------------------------|
| 1. 十字軍の遠征が失敗し、キリスト教徒が住む場所をアジアに求めたため | 2. マルコ・ポーロが『世界の記述（東方見聞録）』で日本を黄金の国と紹介したため | 3. ヨーロッパで始まった宗教改革に対し、カトリック教会が勢力を立て直そうとしたため | 4. 産業革命によって生産された工業製品を販売する市場を求めていたため |
|-------------------------------------|--|--|-------------------------------------|
- 問5 戦国大名の一人である朝倉氏が定めた「朝倉敏景卿四十七ヶ条」という資料には、家臣が自らの居城以外に城を築くことを禁止する内容などが記されています。このような規定を設けることで、戦国大名が実現しようとしたこととして最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. キリスト教の布教を制限することで、領民の思想的な結束を図ること | 2. 家臣が独自の軍勢力を持つことを抑え、大名による領国支配を強化すること | 3. 朝廷の許可を得ることで、他の大名に対して官位の優位性を示すこと | 4. 室町幕府の権威を背景に、近隣の守護大名との同盟を維持すること |
|------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
- 問6 日本列島の地理的区分において、中国地方の日本海側に位置する島根県にあり、戦国時代に大名の保護を受けた商人たちによって大規模な開発が進められた銀山はどれですか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 佐渡金山 | 2. 足尾銅山 | 3. 生野銀山 | 4. 石見銀山 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 戦国大名が「分国法」を定めた目的や、その内容に共通する特徴として最も適切なものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. キリスト教の布教を制限し、特定の寺社を保護して領国内の思想を統一すること | 2. 家臣同士の私的な争いを禁じ、大名の強力な権限で領国内の秩序を維持すること | 3. 江戸幕府の許可を得て、大名同士の婚姻を制限し、軍勢力を抑え込むこと | 4. 鎌倉幕府が定めた武士の慣習を全国一律に適用し、朝廷の権威を守ること |
|---|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問8 戦国時代の九州を代表する大名で、現在の府内（大分市）を拠点にキリスト教を保護し、有馬晴信や大村純忠とともにローマ教皇のもとへ「天正遣欧少年使節」を派遣した人物は誰ですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 北条氏康 | 2. 今川義元 | 3. 朝倉義景 | 4. 大友宗麟 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 豊臣秀吉による朝鮮出兵が始まった1592年（文禄の役）よりも前の時代に、世界で起こった歴史的出来事として正しいものを答えなさい。 (2017年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. フランスにおいて、市民が自由と平等を求めて蜂起し、フランス革命が起こった。 | 2. ドイツにおいて、当時として最も民主的といわれたワイマール憲法が制定された。 | 3. アメリカ合衆国で、奴隷制の存廃をめぐる北部と南部の対立が深まり、南北戦争が始まった。 | 4. ポルトガルの航海者バスコ・ダ・ガマが、アフリカ大陸の喜望峯を経てインドに到達した。 |
|--|--|---|--|
- 問10 戦国大名の武田信玄が制定した「甲州法度之次第」のように、当時の有力な大名たちが独自の法律を定めた主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|---|
| 1. キリスト教の布教を制限し、外国との貿易を大名が独占するため | 2. 朝廷から与えられた官位の順序に従って、家臣の序列を整理するため | 3. 室町幕府の命令を全国の農民に守らせ、将軍の権威を強めるため | 4. 家臣同士の争いを抑え、民衆を含めた領民全体を統制して領国を安定させるため |
|----------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|---|
- 問11 14世紀から15世紀にかけて、室町幕府の支配力が次第に弱まり、幕府の権威が失墜していきました。このような社会情勢の中で、下の者が実力で上の者を倒して地位を奪う風潮が広まりましたが、この風潮を何と呼びますか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 大政奉還 | 2. 門閥政治 | 3. 尊王攘夷 | 4. 下剋上 |
|---------|---------|---------|--------|
- 問12 室町時代後期から戦国時代にかけて、各地の実力者が幕府の法に頼らず、自らの領国内を統治するために独自に制定した法律を何といいますか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|--------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 公事方御定書 | 3. 御成敗式目 | 4. 分国法 |
|----------|-----------|----------|--------|
- 問13 将軍のあとつぎ問題などを原因として1467年に発生し、約11年間にわたって続いた戦乱は、幕府の力を決定的に弱め、社会全体に「下剋上」の風潮を広める大きな契機となりました。この戦乱の名称を選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 承久の乱 | 2. 応仁の乱 | 3. 観応の擾乱 | 4. 島原の乱 |
|---------|---------|----------|---------|
- 問14 戦国時代において、各地の戦国大名が自らの領国（分国）内の武士や民衆を統制し、領国内の秩序を維持するために独自に制定した法律を何といいますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|--------|----------|
| 1. 公事方御定書 | 2. 御成敗式目 | 3. 分国法 | 4. 武家諸法度 |
|-----------|----------|--------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ヨーロッパで宗教改革が起こり、勢力を立て直そうとするカトリック教会が海外への布教を積極的に進めていた。	ルターやカルヴァンによる宗教改革によってカトリック教会の権威が揺らぐ中、カトリック側は勢力回復のためにアジアやアメリカ大陸への布教を強化した。この流れの中で、1534年に結成されたイエズス会のザビエルが日本へ派遣されることとなった。プロテスタントが本格的に日本に関わるのは、17世紀のオランダやイギリスの来航を待つことになる。
問2	答え 3 1543年に伝えられたこの兵器は、集団戦法への転換を促し、防御力の高い城郭の構造などにも大きな影響を与えた。	1543年（16世紀）に種子島へ鉄砲が伝来したことで、それまでの騎馬戦から足軽による集団戦法へと戦術が大きく変化しました。また、鉄砲の威力に対抗するために、石垣を高く積み上げた堅固な城郭が築かれるようになるなど、軍事・建築の両面で社会に劇的な変革をもたらしました。
問3	答え 3 ポルトガル人	16世紀半ば、東アジアに進出していたポルトガル人が、種子島に漂着した中国船に乗っていたことから、日本に初めて鉄砲がもたらされました。当時の種子島島主であった種子島時堯（ときたか）がこれを買取り、国産化を命じたことで、日本国内での製造と普及が始まりました。
問4	答え 3 ヨーロッパで始まった宗教改革に対し、カトリック教会が勢力を立て直そうとしたため	ルターやカルバンによる宗教改革によって、ヨーロッパ内でのカトリック教会の権威が揺らぎました。これに対抗するため、カトリック側は自己改革を行うとともに、イエズス会などの組織を通じて世界各地にキリスト教を広め、教勢を回復しようとする「対抗宗教改革」の動きを強めました。ザビエルの来日もこの一環として位置づけられます。
問5	答え 2 家臣が独自の軍事力を持つことを抑え、大名による領国支配を強化すること	戦国大名は分国法を通じて、家臣たちの勝手な行動を厳しく制限しました。朝倉氏の事例のように、居城以外の城（支城）を勝手に持たせないようにすることは、家臣が独立した勢力になることを防ぎ、大名の支配下に置くという目的がありました。このように、大名への忠誠を誓わせ、領国内の秩序を保つことが分国法の大きな目的です。
問6	答え 4 石見銀山	石見銀山は、16世紀前半に博多の商人である神屋寿禎らによって本格的に開発されました。戦国大名の尼子氏や毛利氏がこの地の支配権をめぐる激しく争い、江戸時代には幕府の直轄地（天領）となりました。島根県の大田市に位置し、世界文化遺産にも登録されています。
問7	答え 2 家臣同士の私的な争いを禁じ、大名の強力な権限で領国内の秩序を維持すること	戦国大名は、家臣たちの私的な争いが領国の混乱を招くことを防ぐため、武力による解決を禁じました。多くの分国法では、争った両者を理由に関わらず処罰する「喧嘩両成敗」の原則などが盛り込まれ、大名が絶対的な裁判権を持つことで領国支配を強めようとしていました。大名同士の婚姻制限は江戸時代の武家諸法度の内容です。
問8	答え 4 大友宗麟	大友宗麟は豊後（大分県）を本拠地とした有力な戦国大名です。フランシスコ・ザビエルの布教を認めて以降、キリスト教を厚く保護し、海外貿易を積極的に行いました。1582年には、伊東マンショら4人の少年をローマへ派遣する使節の送り主の一人となりました。
問9	答え 4 ポルトガルの航海者バスコ・ダ・ガマが、アフリカ大陸の喜望峰を経てインドに到達した。	日本の安土桃山時代における朝鮮出兵（1592年）と比較して、バスコ・ダ・ガマのインド航路到達は1498年（15世紀末）の出来事であり、約100年ほど早い時期に当たります。他の選択肢であるフランス革命は18世紀末、南北戦争は19世紀、ワイマール憲法の制定は20世紀の出来事であり、いずれも日本の江戸時代後期から大正時代にかけての事象です。
問10	答え 4 家臣同士の争いを抑え、民衆を含めた領民全体を統制して領国を安定させるため	戦国大名は、領国内での紛争を解決し、家臣団の結束を固めることで軍事力を維持し、他国との戦いに備える必要がありました。「甲州法度之次第」では、人々の行動を取り締まることで国の統治を目指す姿勢が示されています。これは中央政府である幕府ではなく、各大名が独立して統治を行っていた実態を反映しています。
問11	答え 4 下剋上	応仁の乱以降、室町幕府の將軍や守護大名の権威が低下したことで、実力を持つ家臣や国人が主君を追放して自ら領地を治める動きが全国で見られるようになりました。この現象は戦国時代の大きな特徴であり、新たな支配者である戦国大名が誕生する要因となりました。
問12	答え 4 分国法	応仁の乱以降、室町幕府の権威が衰退したため、各地の戦国大名は自分の力で領国を維持・発展させる必要がありました。そこで、家臣同士の争いを裁いたり、領国内の治安を維持したりするために、独自に制定した法が「分国法」です。今川氏の「今川仮名目録」や武田氏の「甲州法度之次第」などが有名です。
問13	答え 2 応仁の乱	この戦乱によって政治の中心地である京都が荒廃し、將軍や幕府の権威が失墜しました。その結果、地方の武士たちが幕府の指示を仰がずに実力で領地を奪い合うようになり、下剋上の世の中、すなわち戦国時代へと突入していきました。
問14	答え 3 分国法	室町幕府の権威が衰退した戦国時代、各地の大名は自らの実力で領国を治める必要がありました。そこで、家臣同士の私的な争いを禁じる「喧嘩両成敗」の規定や、年貢に関する取り決めなどを定めた独自の法を制定しました。江戸幕府が制定した「公事方御定書」とは時代背景が異なります。